

令和 7 年度第 4 回青谷地域振興未来会議 議事概要

日時：令和 7 年 9 月 2 5 日（木）午後 1 時 30 分～ 3 時 45 分

会場：青谷町総合支所 第 1， 2 会議室

【出席委員】

秋田典昭、井上智朗、浦島考雄、大谷 茜、小谷峻一、斎藤智範、田内伸一、棚田美紀雄、浜野幸子、山田由理子

【欠席委員】

青木綾、長谷川優

【事務局】

＜青谷町総合支所＞

佐々木支所長、田中副支所長兼地域振興課長（併教育委員会事務局青谷町分室長）、高野産業建設課長、金崎市民福祉課長、山田地域振興課課長補佐

【日程】

- 1 開会
- 2 会長あいさつ 田内会長
- 3 議題

【報告事項】

- | | |
|--------------------------|--------|
| （１）青谷町運動公園テニスコートについて（報告） | （資料 1） |
| （２）鳥取市立地適正化計画資料について | （資料 2） |

【協議事項】

- | | |
|-----------------------------|--------|
| （１）未来プラン⑤地域と連携した定住人口の増進について | （資料 3） |
| （２）駅前周辺の賑わい創出・空き施設活用について | （資料 4） |
| （３）地域人材の発掘・育成について | （資料 5） |

- 4 その他
- 5 閉会

◎議事概要

<報告事項>

(1) 青谷町運動公園テニスコートについて（報告）

事務局より説明

青谷町運動公園テニスコートについて、フェンスの老朽化による倒壊などを受けて使用中止している問題について、令和6年11月の地域振興会議においてあり方等の意見を受けたことを踏まえ、その後の対応の状況について経過報告するもの。

【委員】綺麗になり、公園進入路も新設されたので災害等があった時に車で避難しやすい体制になった。今後は、広場のままにするのか、すぐ近くに空浜公園もあるので、利用のあり方について考えていく必要がある。

【委員】この公園はどういう位置付けになっているのか。

【事務局】運動公園としての位置付けに変わりはないので、テニスコート部分は無くなったが、散歩など自由に使っていただいて構わない。

【委員】車で自由に出入りして良いのか。

【事務局】進入路を設けたので出入りして構わない。以前の地域振興会議において、付近の墓地に掃除等で来られる方が路上駐車せざる得ない状態とのことで、一時的に駐車できるスペースがあれば良いという意見があった。また、災害時に車で避難してくる場合を想定して車が置ける形で考えている。

(2) 鳥取市立地適正化計画資料について

事務局より説明

鳥取市立地適正化計画の策定に向けて、庁内でとりまとめた資料のうち、青谷地域に関連する内容について報告し、未来会議委員に地域の現状を周知するもの。

※立地適正化計画の策定にかかる審議については、改めて行う予定。

【委員】掲載データに少し時間が経っているものがあり、現状の数字の推移はまた変わっている部分もあると思うが、今後新たに調査し直す計画はあるか。

【事務局】市が管理している人口などのデータは随時更新される。調査が必要なものについては、店舗・病院などは調査できるが、アンケートが必要な内容は総計画策定の中で行っている市民アンケートから引用すると思われる。

【委員】このようなデータは計画策定における一番大事なベースの情報だが、交通機関分担などは平成 26 年度の状況と現在では大分様相が変わってきている可能性もあるので、再調査が必要と思う。

【委員】人口について、2050 年は市ではどれぐらいを想定しているのか。

【事務局】支所として独自には算出していないが、人口推移は重要なデータなので、想定人口は作成している。ただし、地域毎などでは推計人口の精度が非常に低く、ブレが大きいため、信用性のある数値は出しづらい。市としても地区単位、公民館単位での将来推計人口は公式としては出していない。

<協議事項>

(1) 未来プラン⑤地域と連携した定住人口の増進について

事務局より説明

駅前周辺の賑わい創出は、周辺施設の利活用を検討する他、指定管理者が変更となった「青谷ようこそ館」の運営を支援し、地域と連携した賑わい創出を進める。

移住定住支援は、空き家運営業務の受託業者である NPO 法人「BFO じげ」と連携し、空き家対策会議を開催して地域ぐるみの取組を推進する。

地域の賑わい創出は、青谷ようこそ市場の開催や地域イベントとの連携を進め、空き家・空き地活用として青谷さんぽフェスを開催し、地域の PR を推進する。

青谷高等学校の活性化および地域の特色ある教育の支援は、青谷高等学校が取り組む「地域みらい留学」や「青谷学・地域課題探究」のほか、青谷小中学校の「みらあおプロジェクト」の支援に努める

【委員】地域同士の繋がり強化、関係人口の増加について活動しているのは日置地

区まち協だけか。

【事務局】まちづくり協議会も様々な活動に取り組んでいるが、他地区との交流事業に取り組んでいるのは日置のみ。

【委員】池田市について取組事項に記載が無いが、青谷かみじちフェスタやようこそまつりに来てもらったり、こちらからも行くような計画はないか。

【事務局】現時点では出来ていないが、以前はようこそ館が中心となって野菜等の物販を行っていた。次年度以降また実施出来ればと考えている。人的交流についても追々考えていきたい。

【委員】池田市とは人的な繋がりは維持されているのか。

【事務局】以前はようこそ館職員の属人的な繋がりであったので、そこから再開していくために繋がりの再構築が必要と考えている。

【委員】日置地区まちづくり協議会の城北地区との交流事業の交流人数の推移は。

【事務局】年間4回の事業で延べ約100人程度の交流を継続している。

(2) 駅前周辺の賑わい創出・空き施設活用について

事務局より説明

駅前周辺の賑わい創出および空き施設の有効活用については、「地域未来プラン⑤ 定住人口の増進」においても重点的に位置付けられており、青谷地域の利便性向上に資する重要な取組である。

旧青谷上寺地遺跡展示館については、地域による活用も可能であり、支所としても利活用の方向性を検討していきたい。西商工会館については、商工会の所有であり市としての直接的な関与は困難だが、現在売却に向けた調整が進められていると伺っている。

青谷駅舎やその周辺エリアの整備方針についても、今後の地域活性化に向けて地域のご意見を反映しながら検討を進める必要があるため、意見集約の方法等について委員の皆様のご助言をお願いしたい。

【委員】図書室が支所にあるが、ちゃんとした図書館が商工会館か上寺地遺跡展示館

跡の所にあれば、ようこそ館のカフェと連動して賑わいに繋がるのではない
か。

【委員】 単身者、高齢者が多くなる中で、交流できる場所が無い。青谷の中心となる
場所に、交流の場所が出来た方が良い。

【委員】 高齢者の交流の場所は、駅周辺だけでなく、まち全体で必要だと思う。そう
いう意味では、公民館がその機能を持っているかもしれないが、機能が充分
で無いために場所のニーズが生まれているのではないか。

【委員】 鳥取駅周辺の「不真面目商店」のように、定期的を開いてて、かつ近くに歩
いて行ける範囲内にあるのはすごく価値のあることだと思う。子育て支援施
設のような福祉的な側面もある。

【委員】 令和2年の JR からの提案については、現在どうなっているのか。

【事務局】 市からの回答はしていない。地域からの要望や意見を聞きながら、活用の
道筋がつく駅舎については、検討を進めることとなる。JR はタイムリミッ
トを一応決めつつ、地域や市が話をまとめて要望すれば、対応する意向を示
している。

【委員】 JR は駅舎の活用に協力的だが、路線の安全管理上保線装置等が内部にあるた
め、内部の改装にはかなりの費用がかかる。また、貸出についても、個人で
はなく行政が借りることが条件となる。

【委員】 賑わいの場の方針を検討するのはワークショップが良い。まちづくりに携わ
って色々なワークショップを開催されている方から、どういう形での運営が
良いか相談してみては。

【委員】 ワークショップは関心のある方しか参加しないので、取れるならアンケート
で「青谷の未来を考える」という趣旨で聞き取り項目があれば良い。

【委員】 アンケートを取るのであれば、小中学生にも聞いて欲しい。自分が小さい時
に話したことが大人になった時に実現していればそれはすごく嬉しいこと
だし、大人が青谷を作っていく中で、小中学生に何か声を発す機会があつた
ら、必要だし良い取組だと思う。

【事務局】 意見を踏まえ、ワークショップ及びアンケート実施に向けて検討を進める。

(3) 地域人材の発掘・育成について

事務局より説明

青谷地域未来プランの柱の一つ「地域と連携した定住人口の増進」では、地域のにぎわい創出と地域人材の発掘・育成を重要視している。

青谷地域活性化推進事業は、地域づくり団体をまとめる「青谷地域づくり連絡協議会」に補助金を交付し、各団体の活動を支援しており、主な活動には郷土芸能の保存、鳴り砂の保全、歴史文化学習、特産物の販売促進、観光振興などがあり、多彩な地域資源の活用に努めているところ。

しかし、団体の高齢化や新規参加者の不足、活動の評価や支援体制の不十分さから、活動の継続や活性化に課題があるため、新しい団体の掘り起こしや活動評価の仕組みづくり、支援体制の見直しについて、未来会議の意見を伺う。

【委員】 地域活動の活動状況や経過などの周知方法は、支所だよりなどになるのか。

【事務局】 支所としては特に周知はしていない。それぞれの団体が PR されている。

【委員】 地域の方の多くが、活動している団体や、活動内容、活動実績を知らないと思うので、活動を PR できるような媒体があった方が良い。例えば支所だよりとか、支所だよりがスペースを割けないのであれば、何かの媒体で定期的に発行するなどの支援ができるのでは。

【事務局】 支所だよりでの掲載も検討したい。また、地域づくり連絡協議会の方で、活動の PR についても働きかけていく。

【委員】 地域づくり連絡協議会で、お互いの情報交換をしたり、鳴り砂クリーン作戦などの各団体の活動を連携して実施したりできないか。

【事務局】 情報交換については、連絡協議会の総会が年 1 回開催されているので、その場でされていると聞いている。活動の連携については、鳴り砂クリーン活動のように、団体ごとで連携しているケースはある。

【委員】 集客については、なかなか集まらないイベントもあるようだが、例えば集客能力に長けた団体やメンバーがその集客を助けたりとか、連携することでもできるのではないか。

【事務局】 団体同士の情報発信の連携について、各団体に助言していく。

4. その他

【委員】 本日の議論でも駅周辺に関する内容が取り上げられていたが、これについては今後も継続して話し合いが行われていくものなのか、それとも今回限りの単発的な議題だったのかを確認させていただきたい。また、こうした議題について、前回までの内容をどのように積み上げていくのか、会議としての進め方や整理の仕方についてもお伺いしたい。さらに、前回の会議で話題に上がっていた地域おこし協力隊について、さまざまな候補やアイデア（例えばスポーツ関連など）が挙がっていたが、それらの提案がこういった形で結論づけられたのか、あるいは今後も継続して審議されていくのか、その点も伺いたい。

【事務局】 地域おこし協力隊については、現在財政当局と協議しているところであり、また結果を次回報告したい。これまで議論した内容の積み上げについては、それぞれ年初に提案した計画に従って、継続して審議していただきたいと考えているが、前回の会議で審議された内容の進捗状況について、今後は次の未来会議で報告するように改めたい。また、審議内容については後日市のホームページでも公開しているので、そちらも確認いただければと思う。